

ふっさ

◇ 昭和53年1月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)

賀正



もうすぐ道路が広くなる！

昭和38年に着手した加美平地区の区画整理事業が、関係者の御協力によっていよいよ終わり近くになりました。

消防署先から警察署にぬける道路も拡幅工事が急ピッチで進んでいます。

—写真は1月11日、工事現場で撮影—

新春を迎えて



議長 長岩田 博



副議長 小堀 仁七

のために、私も議会側と市理事者側が一体となつて力を入れていきたいと思つております。

市民の皆さまの強い願望でありました市民会館もオープンし、多くの方々が利用され、喜ばれておりますし、長年運動してきた都立保健所もでき、又関係者の方々の深い御理解と御協力によつて、おかげさまで加美平区画整理事業も終局間近となり、さらに進捗中の福生駅東口区画整理が完成すれば、街づくりもほばでき上がり、公共下水道事業も今年からいよいよ使用開始となります。

市民の皆さま、あけましておめでとうございませす。
今年もよいお正月を迎えられたことと思ひます。
私どもが議員として昭和五十年四月に就任して以来、三回目の新春を迎えることができました。日頃皆さまの暖かい御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、国内の経済は、オイルショック以来の不況から脱出できないまま、加えて円高による不況が追い打ちをかけ、ますます前途多難な年明けとなりましたが、市の財政も好むと好まざるを問わずこうした影響を受け、税収入の落ち込みなどで財政運営、強いては市行政の上からも試験の年であると思われ、今後より一層最少経費で最大効果が上がるよう、快適な市民生活の環境づくり

なお、昨年から体育館の隣に市民の皆さまの健康管理をする保健衛生センターを建設するための財源獲得運動を固くして働きかけ、今年完成する見通しもつきました。
こうした市民の皆さまの生活環境施設を整備するとともに、福生市が真に住宅商業都市としての基盤を充実することは、私ども議員に課せられた責務でもあり、昭和五十三年を輝かしい年にしなければならぬと思つております。
そのためには終始市民の皆さまの御要望に応え、御期待に沿うよう努力する決意であります。どうか今年も一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の御挨拶といたしませす。

議員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|-----------|
| 原 敏子 | 松 山 清 | 原 田 生也 | 村 野 武男 | 森 田 治男 | 村 尾 栄次 | 鈴 木 藤次郎 | 山 崎 良之助 | 竹 田 政 勝 | 指 田 保 雄 | 宇 佐 美 良 時 | 貫 井 喜 代 次 | 川 窪 清 一 | 田 村 市 郎 | 小 林 菊 三 | 関 米 吉 | 東 田 正 治 | 大 野 行 夫 | 宮 沢 良 一 | 高 波 忠 | 末 次 性 男 | 塩 野 鉄 之 助 |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|-----------|

議会日誌

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 11月 | 10月 |
| 2日 全国基地協議会理事会 | 11日 厚生委員会行政視察 (13日まで) |
| 4日 福生伝染病院組合議会 | 13日 建設委員会協議会 |
| 7日 嘉手納町議会来議 | 15日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会 |
| 9日 議会運営委員会 | 19日 議会だより編集会議 |
| 10日 東京都議長会定例会 | 22日 全員協議会 |
| 11日 狭山火葬場組合議会 | 26日 総務委員会行政視察 (28日まで) |
| 14日 総務委員会 | |
| 15日 建設委員会行政視察 (17日まで) | |
| 18日 厚生委員会 | |
| 21日 建設委員会 | |
| 28日 立川・横田基地対策連絡協議会 | |

昭和51年度決算特別委員会

一般会計決算を認定

1億4,411万円の黒字

引き続き厳しい経済不況の中で終わった昭和51年度決算は、2日目の本会議で理事者の説明を受け、質疑の後、委員21人で構成する「昭和51年度福生市一般会計決算審査特別委員会」をつくり、12日に委員会を開き、貫井喜代次委員長、東田正治副委員長のもとで長時間にわたって活発な質疑が行われました。

最終日の本会議では賛成と反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定されました。

問 自主財源と依存財源を分けたとき、自主財源が年々低下しているが、この考え方について伺いたい。

財政上好ましくない
依存財源の増加

歳入



企画財政課長 福生市の力からいってそう大幅に自主財源は拡充できない。依存財源は、国や都の支出金を取り入れ、財政上は余り好ましくないが、かなり大幅に伸びている。できるだけ現在のペースは崩さないようにしたい。

問 市税の収入未済額の内訳を聞きたい。

答 税務課長 個人市民税で約二千八百三十二万円、法人市民税で約三百七十五万円、固定資産税で約九百八十五万円、都市計画税で約四百五十六万円、軽自動車税で約八十八万円である。

昭和五十二年最後の定例会が十二月八日から二十三日まで開かれ、五十一年度の一般会計の決算や市役所の機構を四月から部制度にする組織条例など十二議案と請願、陳情三件が決まりました。

一日目 十二月一日の昼までに六名の議員から申し出のありました商業、教育、福祉問題など市政全般の質問が五時間半にわたって、議員と市理事者側との間で活発に行われ、一日目を終わりました。

二日目 一日目に審議が残された市職員のベースアップやボーナスの条例など十六議案と請願、陳情の審議に入り、総務委員会に三件、建設委員会に八件、厚生委員会に六件を、又昭和五十一年度の一般会計決算は、委員二

第4回 定例会

十一人の決算審査特別委員会をつくらせて付託、三議案を可決、陳情一件を採択して終わりました。

三日目 付託された案件の委員会が十二日から十六日にわたって開かれ、その結果が各生市組織条例、五十一年度の一般会計決算、国保会計決算と北方領土早期復帰実現に関する請願書については、反対、賛成の討論があり、起立で採決したところ、賛成多数で、そのほかは全員一致で決まりました。

又今回は、定例会が終わってからでも陳情の審査を継続していきたいとの委員会の申し出に対しても、継続に反対だ、賛成だとの討論があり、起立多数で継続と決定し、今年最後の定例会を閉会いたしました。

審議日程

12月	12月	30日
8日 本会議・一般質問	1日 横田基地対策特別委員会	三多摩上下水(第二委員会)
9日 本会議・議案審査	1日 会	
12日 決算審査特別委員会	2日 狭山火葬場組合議会	
14日 厚生委員会	2日 議会運営委員会	
15日 建設委員会	6日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会	
16日 総務委員会	6日 西多摩衛生組合議会	
20日 議会運営委員会	8日 第四回定例会(第一日目)	
23日 本会議・委員審査報告	8日 全員協議会	
	9日 第四回定例会(第二日目)	
	12日 昭和五十一年度福生市一般会計決算審査特別委員会	
	14日 厚生委員会	
	15日 建設委員会	
	16日 総務委員会	
	19日 福生伝染病院組合議会	
	20日 議会運営委員会	
	23日 第四回定例会(第三日目)	
	26日 全員協議会	
	27日 全国基地協議会陳情	
	28日 全国基地協議会陳情御用納め	

市税等の増収で

収入率一〇〇％超過

問 歳入全般で収入率が一〇〇％を超え、一億四千余万円の黒字となっているが、この理由を伺いたい。

企画財政課長 市税において予算現額より五千六百万円上回

第4回定例会を 傍聴された方々 (敬称略)

- 篠崎 久治 ○川邊 忠藏 ○窪田 幸一
- 小野沢 久 ○斎藤 真一 ○野島 栄藏
- 吉田 賢一 ○秋山 作一 ○伊東 寿一
- 日請せい子 ○桜沢 ミヨ ○原島せい子



ったこと、又地方譲与税で一千万円の増額があったためであるが、収入となるべきものを適格に把握して予算に計上できなかったことを反省している。

▲歳出▼

応募者が少なく

市政モニターは廃止

問 市政モニターが廃止となった理由と、たばこ自動販売機修理補助について聞きたい。

庶務課長 五十一年二月に五十人のモニターを公募したが、応募者が少なく中止した。

税務課長 五品目以上の販売機を購入する場合、五万円を限度に補助し、料金改正等によって修理するときは、一年経過につき五千円の補助をしている。

問 広報用増幅器工事等で予備費から流用しているが、予算化できなかったのか。

企画財政課長 火災時等の緊急用放送機が壊れたので、工事を予備費でやったが、原則としては予算計上してやらざるべきである。経常的な経費は九月の予算で補正するが、その時期まで待てないものも出てくるので、やむなく予備費又は款内流

用することもある。

火葬場組合の負担金

来年度以降は減少

問 瑞穂町にある狭山火葬場組合の負担金は今後もふえるのか。

市民課長 五十一年度で給排水工事や休憩室の整備工事をして、五十二年度も庭園の整備をやったので、臨時分損金が多くなったが、五十三年度以降は少なくなる。

問 歳出全体で不用額が予算

額に対し、二・六％近く出た理由は何か。

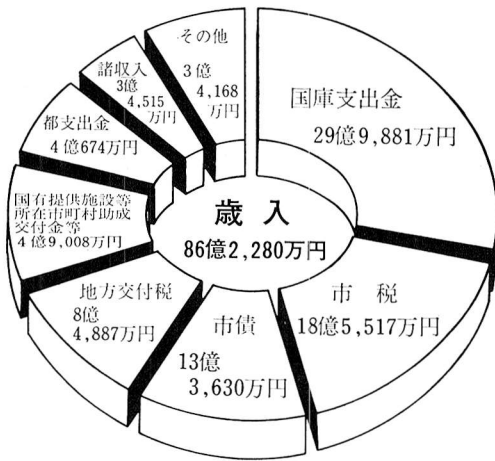
企画財政課長 国民年金印紙代が予定より少なくてす

み、中央幹線排水路事業、武蔵野幹線排水路事業、福生駅自由通路建設事業で、補助金精算の結果、不用額が生じ、市民会館建設工事では周りの外構工事が五十二年度に入ったためのももあり、事業の未執行で多額の不用額が出たわけではない。

問 市長の交際費と食糧費の内容を聞きたい。

秘書職員課長 慶弔関係が

歳入歳出款別決算表



トクロン 討論 トクロン

住民要求を切りすて

政府の方針に追随



自治体に多くの住民要求が寄せられているが、財政危機のもとでこれにこたえられずにいるとき、政府は自治体に人件費や福祉施策につき不当な干渉や介入をし、地方行政への圧迫を強めている。市長はこれに対して敢然と立ち向かうことなく、国保の二年連続の値上げ、保育料の値上げ等政府の方針に従い、市民の暮らしを守る施策を前進させる立場に立つことがなかったと思う。

五十一年度は、民間保育園の不正問題があったが、これは市長の安あがりの保育行政の結果である。又都市施設整備基金へ約一億円を積み立て、なおかつ実質収支で約二億五千万円の赤字となったことは、財政危機に名を借りての住民要求の切り捨てによる結果と思う。又市税徴収率が職員の努力で向上したが、市民要求の施策実施に結びつかず残されている。さらに、年間を通じ、その大半を陳情等で市役所を留守にし、市民の面会や要望にもこたえなかったこと等から、本決算には反対するものである。

51年度一般会計決算

収入率・執行率ともに良好
＝監査意見から＝

決算総額は歳入86億 2,280万余円、歳出83億 6,836万余円で、前年度比は歳入 21.89%、歳出 20.41%の増となっている。

又、実質収支額は2億 5,463万余円であり、前年度の実質収支額を引いた単年度収支においても1億 4,411万余円の黒字となっている。

《歳入》

前年度に比較して 21.87%の増で、主な増は、市債201.70%、市税18.50%、地方交付税45.60%、国有提供施設等所在市町村助成交付金等54.44%等である。一方、主な減は、国庫支出金6.45%、財産収入 52.72%、諸収入5.62%等である。

又予算に対する収入率は100.02%であり、前年度比 13.58%の増である。

《歳出》

前年度に比較して 20.41%の増で、増加率の高い科目は、諸支出金 157.80%、教育費131.43%、公債費 21.53%であり、又減少した科目は、土木費 23.42%、農林水産業費 18.80%である。

又予算の執行状況で見ると、総体で 97.07%で、前年度比 12.15%の増となり、執行率は良好である。

51年度決算の概要

歳入決算額	86億2,280万余円
歳出決算額	83億6,836万余円
形式収支額	2億5,444万余円
翌年度へ繰り越し財源	19万余円
実質収支額	2億5,463万余円
(50年度実質収支額)	1億1,052万余円
単年度実質収支額	1億4,411万余円

問 福生駅西口の自転車置場の利用状況について、又福生駅の自由橋は通学路となっているが、自由橋の東口降り口に横断歩道がないが、どのように考えているのか。

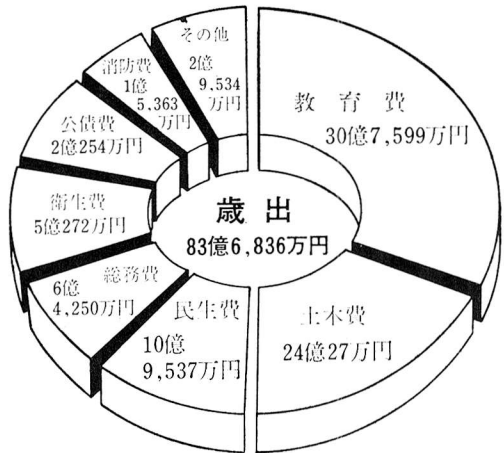
問 職員の事務服購入と法律相談について聞きたい。
秘書職員課長 男子二百六十七人に一着九千八百円の事務服を購入して貸与した。
庶務課長 二人の弁護士が月二回相談日を聞き、年間百七十六件を扱ったが、大変忙しい状態である。今年度も十件以上多いが、市民が十分相談を受けられるようにしたい。

西口の自転車置場
所期の目的達成

六五%、接待関係三〇%、賛助関係五%となっている。食糧費は上級官庁職員の昼食代が主で四十五件である。

大体達成されていると思う。
都市計画課長 自由橋の東口の降り口の横断歩道は、タクシーの出入口で危険性があることから設けられなかった。今後、駅前広場の様子がはっきりしてくれば、人の流れ等を考えてつくりたいと思う。

昭和51年度一般会計



トウロン 討論 トウロン



厳しい経済情勢下で
市民福祉に徹した

五十一年度はこの財政危機をどう乗り越えていくか、きわめて厳しい年であったと思う。

本決算は、単年度収支で約一億四千万円の黒字で、これは市長の市政方針の考え方が全職員に理解されての懸命な努力の結果である。又都市施設整備基金に約一億円を積み立てて将来に備えたことは、自主財源に乏しい本市にとって賢明な策である。又経常収支比率も七九・九%と、二十六市შიいい方から六番目と、財政構造も弾力性が見られるようになってきた。

歳入では、前年度比約十五億四千万円の増で、基地所在市として補助金獲得に奔走した結果と思う。歳出では、前年度比約十四億一千万円の増で、執行状況は九七%ときわめて良好である。これは合理化につとめた結果であり、今後も市民の期待に沿うよう高水準の行政運営を推進されるよう願うものである。総括的に見て、本決算は厳しい経済情勢の中にもかかわらず市民福祉に徹した決算であり、賛成するものである。



一般質問

では一般会
議員がまし
た
第4回定例
6人の議
質問を行



再開発を研究中の
西口商店街

福生駅西口の近代化

都市再開発の方式で

質問 福生駅を

中心とした東西口の再開発について質問をしてきたが、特に西口は先祖伝来営々として築かれた商店街でむずかしい問題もある。しかし大型店の進出などが一つのきっかけとなり

機も熟したと思う。そこで、①西口の都道拡幅を都に申し入れていたが、その後どうなったのか。

②四十七年ごろに市と商工会でつくれた西口再開発

研究会も開かれていないが、今後どのようにし、再開発をどう進めていく考えか。

③西友ストアの駐車場を一般市民も利用できるよう要望した件について聞きたい。

市長 五十一年の十月ごろ都の関係者に現地を見ていただいたが、建物が密集し、奥行きも狭いため、拡幅は困難のように将来、再開発問題等が出されたときに、都にも考えていただくようになると思う。

②大型店の進出や周辺市町の発展状況等からみて、再開発は商店関係者の死活問題であり、急を要する問題であるので、市、商工会、関係者が一体となってよりよい方法でできるよう研究していきたい。

繁華街の改造は、関係者の御協力がないとできないので、再開発研究会が二回説明会を開いたが、集まりも少なく途中で中断した。その後、もっと範囲を

狭くし、商工会から中央商業会に調査、研究をお願いし、現在その調査も活動をしている。

西口は土地も狭く、いままでの区画整理方式では無理であり、都市再開発方式で高層化するほかに必要であり、商店の方が入るかどうかという問題もある。

③四十八年ごろ要望書を西友ストアに出したが、店のために確保した駐車場であり、いい返事はもらえなかった。

現在は、東口区画整理用地となり、富士見通り商業会から、工事着手までの間、駐車場として借用したいとの要望もあったので、東口区画整理審議会に諮り御利用をいただいている。

経済課長 ②八人で西口再開発調査会ができ、その運営費は商工会と市で二分の一ずつ負担している。商工会としては、全体の商業振興上の計画を立案し

て指導する役目もあり、商業者自身の将来の発展を考えて、自主的に活動する経費は個人負担で行う考え方もあるが、市や商工会としての考え方もあり、経費内容により市で負担すべきものは配慮していきたい。

都市計画課長 ②他市における再開発も長期間かかっているようであるが、福生駅西口については都道であり、十六メートルに拡張する買収方式、市街地再開発法で行う方式などがあるが、国や都の補助をもらってで

きるだけ市負担を少なくし、調査の結果によってその方法が検討されると思う。

震災時の避難場所 指定標識をたてる

質問 世界的に有数の地震国であるわが国は、人口、建物、危険物、交通機関等、関東大震災当時に比べて考えると、ゾーッとする思いである。
過去の例から、地震よりその

市長 防災につき消防署や消防団等、身を呈して精励されていることを感謝申し上げます。

市民の避難場所等につき警察側、町会長協議会の役員等と話し合っており、医師会も協力的に研究されている。又、福生市の地域防災計画を手直ししたいと考えている。

環境保全課長 情報の伝達については、市の広報無線放送や警察側、消防関係の携帯無線等を最大限利用し、的確な情報を流したい。
広域避難所は、四十七年に福生市地域防災計画をつくらせたが、当時より公共施設もふえたので、避難場所の指定等を含め

て計画書を手直ししたい。町会等の地域防災の活動も、警察側と町会長協議会が話し合いをし、関心も高まっている。今後地域防災について話し合いをし、必要器具をそろえ、避難場所の標識等を設置していきたい。

危険物貯蔵所への指導は、五年計画で福生地区消防署も三交代制となるので、今後指導を重点的に行うということであり消防団でも点検は行っている。



不況下の市税収入

当初に比八・一%の増

質問 国内の経済は戦後最大の厳しい局面に立たされていると言われ、所得税や法人税の伸びの鈍化等により、大きな歳入欠陥が生じると指摘されている。このような不況下において、当市の市税収入はどの程度見込まれるのか。

税務課長 現在の市税の見込み額は、予算に対して六千八百

も増収は見えていない。当初予算の市税に比べると八・一%の増と見ている。

企画財政課長 今回の一般会計では市税関係は補正をしなかったが、五十二年度収支では約四億三千万円の赤字が予想され又は未確定の収入や起債等の事業もあるので、三月の時点で財政調整の補正をしたいと思う。

生徒の教材費補助 今後増額したい

質問 義務教育費は無償とされ、私費負担はあってはならないもの全国的にこの問題は解決していない。当市は現在小学生一人八百円、中学生千円の補助金が出ているが、最近の経済状態や私費の増加を考え、ふやすとか、映画教室、遠足等を公費で負担する考えがあるか。

市長 市も財政的に苦しく、将来の学校建設等のために、できるだけ財源を留保しておくなければならぬし、現状を維持していくのも大変である。財源があるからといって使ってしまうわけにはいかず、心を鬼にして、できるだけ努力をするという答弁を申し上げたい。

ただし、現在の教材費補助は教育委員会から要求があれば引



8月29日の防災訓練

きしたい。

き上げたいと思う。

教育長 厳しい財政の中で五十年年度から小学生八百円、中学生千円の教材費補助を行っているが、映画、演劇等費用についても重点項目として財政担当と増額や充実について協議したい。

教委学務課長 小学校の私費負担は五十一年度では補助教材費、遠足の旅費、卒業アルバム代、給食代等を含めて一人二万八千五百九十二円で今年度は三千円程度上がっていると思う。

基地の防疫対策

保健所で嚴重チェック

質問 五十二年の夏、和歌山県有田市で発生したコレラ騒ぎで、国も防疫対策に神経をとがらせた。以前は船が感染ルートであったが、最近では航空機の発進で空から侵入するようになった。

横田基地を控える当市は、外国から帰ってきた米軍人が感染して、市内に遊びに出た場

合を考えると恐怖を感じる。そうした防疫面での話し合いを基地側とやったことがあるのか。

市長 基地側も非常に心配しており、日米合同委員会で伝染

病に関する取り決めがあり、開設した福生保健所長と基地側の医師が月一回情報交換するようになってきている。市からも基地側の防疫面につき、特に嚴重にチェックしてもらおうよう保健所長にお願した。

環境保全課長 日米合同委員会で情報交換する病気は二十六種類あり、幸い市にも保健所が

武蔵野地区に八小

将来は学区の再編も


質問 現在の状態から小学校は五十五年ごろ、中学校は五十七年ごろには一校ずつ必要となる。小学校は武蔵野地区に予定しているという答

弁が前にされたが、その後庁内でこの問題について検討されたのか。

市長 小学校は

でき、さっそく保健所長と基地側の月一回の情報交換が始まった。仮に伝染病が発生した場合

は基地側も困るわけで、検査面は日本より進んでいると思う。



議会を傍聴

しましろう

次の定例会は

3月に開かれます

五十五年度に完成、五十六年の春から開校したい目標である。生徒数が多くなり、プレハブ校舎で学校差があれば補助金も多つくので、もっと先にいつてつくれば財政も楽になるがそれでは教育効果は上がらない。生徒が少ない方が教育上いいので、多少苦労しても学校はつくりたいと思っている。

教育施設の充実

緊急度の高い順に

質問 毎年児童・生徒の増加に伴い増改築や施設の整備事業が行われているが、こうした大きな事業に隠れ早く改善しなければならぬ問題もある。プールの循環装置の設置、テレビの

カラー化等教育に必要な設備の充実等について、来年度予算でどう考えられているのか。又都の学校運営費標準額にどう生かされているか伺いたい。

市長 市の予算でも教育関係が優先することは間違いない。その中でも建設面が主となり、限られた予算で第八小学校の用地も取得しなければならぬと考える。又せっかくできた市民会館も社会教育面で活発な活動をしたい考えもあるので、必要最小限度のことはやらざるを得ないと思う。

教育長 予算案中教育費は、教育委員会の意見を聞いて市長が編成しなければならぬという法律の趣旨から提案されるが、毎年度予算編成方針が示され、それに基づいて財政当局と協議している。学校側の要求をすべて実現することは、厳しい財政の中ではむずかしい問題であるが、教育行政水準の維持、向上に努力していきたい。

テレビのカラー化は、七小は終わり、二小、四小は低学年用は入り、一五、五小は五十二年で一部カラー化し、残り三小、六小については今後努力していきたい。散水器具は小中学校とも終わっている。校舎前の通路舗装は一五、七小が残っているが、窓わくの取りかえや増築



生徒数がふえ増築中の五小

工事が終わってからにしたい。プールの循環装置は一小、四小、一中、二中がついていないが、都の補助金が途中からつかなくなったために遅れたが、財政側と協議していきたい。特別教室が少なかった五小は、今年度増築工事があり、二教室できるようになった。

教委庶務課長 五十三年度予算要求については、三小の給食センターの改造、四小の増築、二小、二中のサッシ取りかえ、武蔵野台地区の学習等共用施設の建設、中央図書館の建設着手等が大きな事業で、小中学校十校の整備についても毎年度要求しているが、教育上不可欠なもの、緊急度の高いものを重点的にやっていきたい。

教委学務課長 都で学校運営費の標準が示されており、備品関係では五四・一%と低いものもある。都と市の予算編成の違いもあるが、今後低いものは高くするよう努力したい。

国や都の動きで

手数料アップもある

質問 深刻な不況とインフレ下において、五十三年度予算編成に当たり、市民の要望にどうこたえるか注目される。そこで

次の点について聞きたい。

①市の総合計画策定後、初の予算であるが、総合計画との関係はどうか。

②建設重点から福祉重点へ転換すべきと思うがどうか。

③住民負担の増となる料金値上げの考えはあるか。

④市民の声を予算に反映させる方法についてどう考えられているか。

⑤五十三年度予算の最後見通しと地方財政危機打開のための基本姿勢について。

市長 ①総合計画を行うための実施計画はできていないが、予算編成は総合計画に基づいてやっており、市としての最低の施設はつくらなければならぬと思う。

②建設面が優先しているとは思っていない。金を出すのが福祉ではなく、市民のボランティア精神を養う施設をつくるのが真の福祉であり、又公共下水道事業も福祉につながるものであり、私ども

は子供や孫の時代を考えて努力すべきだと思っている。

③現在は考えていないが、今後国や都等の動向によっては手数料等のアップもあるかもしれない。

④各議員からも毎年要望をいただいております、それが市民の代表の声であると思う。貧弱な財政であり、要望に沿えないものは沿えないと、はっきりしたいと思っております。

企画財政課長 ⑤国からの編成方針が示されていないが、五



空地で遊ぶ子供たち

十二年度に比べ、国では一三%程度の伸びと見ているが、一〇%程度にとどまると思う。又、財政危機と言われているから高福祉高負担という考え方から一部手数料や保育料等の値上げをし、内部的には職員増加の抑制、冗費の節約に努め、事業も補助事業を主体として、単独事業は極力避け、五十一年度決算の経常収支率も八〇%を下回るという成果を上げている。

市有地開放は無理

市の木、花を植える

質問 区画整理事業などで生じた狭い空地が市内に点在しているおり、周辺住民からも開放してほしいとの声もあるが、今後市有の空地をどうするのか。又建てかえ計画の市営住宅の空家も多いが、青少年の非行防止、火災防止等の対策について聞きたい。

市長 市有地の管理は大変むずかしく、ケガをすればお互いに困る。そのため、今後也十分管理していきたい。

市営住宅の空家も壊したいが反対があつて壊せないでいるので、管理人、警察側にも管理や整備についてお願いしている。

庶務課長 市有地は普通財産

となっている。広い場所は今後市の公共施設をつくる計画もあり、開放は無理であり、又、狭い土地を行政目的のないまま一般に開放することは困難である。そのような場所は背の低い市の木や市の花を植えたいと思う。

市営住宅の空家についても心配をしているが、定期的に監視に回ったり、外部からも見えるよう草木を刈るなどし、空家を示し、警察側や消防署に届けてパトロールを強化していただいている。

公園内の小動物施設

市の計画があり困難

質問 市内には公園と言われるのが二十五カ所、うち都市計画公園は十七カ所あるが、子供たちの情操教育のためにも、公園内に小動物の施設をつくる考えがあるか。

市長 将来はそうした公園もつくりたいと思っているが、過去にサルを飼ったことがあるが子供がケガをし、身にしみてこりたこともあるが、小動物も飼えるように公共施設が整った場合はそうしたものをつくりたいと思う。

都市計画課長 公園本来の日

的もあり、動物となると面積や汚物処理等の飼育上の管理等の問題もあるので、自然の小鳥用にエサ台をつける程度ならできると思う。今後公園設置の計画の中で検討していきたい。

非常用ベルの利用

調査して活用したい

質問 体の不自由な老人や一人暮らしの老人を災害から守るために、非常用ベルの貸し出しをやっているが、利用者が少ないようで、残念である。

今後対象者を広げ、充分利用してもらえようようにする考えがあるか。

福祉事務所長 四十九年から消防署と協力し、必要な世帯に設置し、現在六台利用されている。市内には一人暮らしの老人が百五十人程度おり、うち五十人くらいが寝たきりの老人である。ケースワーカー等を通して調べたが、一般家庭にも電話もあり、福祉電話も設置されているので希望者が少ないが、再度調査し活用していただけるようにしたい。

はし貸報の広報調査結果を見て



質問 障害者が自由に生活できる環境づくりを積極的に進め

なければならぬのは行政として当然である。公共施設を見ても、市民体育館は身障者用の手すりもなく、健康者だけの施設になっているので、施設の改善や障害者用の駐車場確保と、又

視力障害の方に、市のお知らせ用の声の広報を貸し出す考えがあるか聞きたい。

市長 市民会館や地区会館のように身障者の方も利用できるように市役所のトイレも改良したい。体育館については職員がお手伝いするようにし、いずれ改良したい。いまの福祉会館もいずれは大改造し、福祉の殿堂にしたいと思う。

企画財政課長 市役所の前に身障者用の駐車場を常時確保するようにしたい。

環境保全課長 声の広報については、身体障害者福祉協会も協力をいただいで、アンケート調査をしており、声の広報の要

望も含まれているようであるので、その調査結果を見て関係者と協議していきたいと思う。

障害児の教育は

軽度は市で

質問 国や都においても障害児教育に前進が見られるが、多様化する父母の要求をかなえる上で、市は一層力を入れなければならない。この障害児教育の基本的な考え方と今後の計画に

ついて聞きたい。

市長 いま議会の委員会で請願を審査しているが、基本的な考えとして、軽度は一小、二小、一中で行っている特殊学級で、重度は都でやっていただくことになる。

教育長 障害の重い児童は都の養護学校、軽い児童は市の特殊学級で行うのが原則となっている。重度学級は膨大な経費がかかり、羽村町に都立の養護学校もあって、スクールバスで送迎しているので、そこで就学措

置をお願いしたい。市内の心身障害児は四十五人おり、全員就学している。当市には一小、二小、一中に特殊学級ができ、二十五人が就学し、関係者から好評を得ている。

教委学務課長 羽村町にあるのは精神薄弱関係で、肢体不自由は武蔵村山市にあり、就学相談に当たっては、専門の先生に障害の程度を見ていただき、判断をしている。就学前は教育相談日に、保護者からの申し出があつてから相談に応じている。

請願陳情



採択

◇請願第二号 北方領土早期復帰実現に関する請願書

立川市羽衣町三一七一—一四

福田之保氏 他三七二人

一昭52・6・13提出

継続

◇請願第四号 自主課税による

税負担の不公平是正と税制改革による減税に関する請願書

立川市曙町二一一五

石野 昇氏

一昭51・9・22提出

◇請願第一号 障害者(児)の施設設置に関する請願書

熊川九六九 川邊忠藏氏 他十八人

一昭52・11・30提出

志茂二〇二

佐藤絹江氏 他九〇一人

一昭52・3・11提出

◇請願第四号 私立幼稚園児保護者への助成に関する陳情書

熊川一〇二四 滝沢洋子氏 他四人

一昭52・9・27提出

◇請願第三号 防犯灯増設及び遊園地設置に関する請願書

熊川八三〇 小林三郎氏 他一〇〇人

一昭52・6・24提出

◇請願第五号 老人医療費有料化反対及び制度改善に関する陳情書

熊川八三〇 西村秀吉氏 他一三〇人

一昭52・9・27提出

◇請願第四号 高齢者事業団設立に関する請願書